

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年9月1日～2024年8月31日)



®環境省

エコアクション21
認証番号0013477



内藤建設株式会社

発行日：2024年10月3日

目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 主な環境負荷の実績	・・・	P 2
3. 対象範囲（認証・登録範囲）	・・・	P 3
4. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3
5. 環境経営方針	・・・	P 4
6. 環境経営目標	・・・	P 5
7. 環境経営計画	・・・	P 6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 7
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 9
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 10
11. 環境活動の紹介	・・・	P 11

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

内藤建設株式会社
代表取締役 内藤 英樹

(2) 所在地

本社 兵庫県西脇市下戸田8-3
資材倉庫 兵庫県西脇市津万425,426,427,434
残土処分場 兵庫県西脇市津万434-1、435

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 工事部長 高瀬 勝也
環境管理担当者 環境課長 大塩 裕和
連絡先 TEL : 0795-22-4502
FAX : 0795-22-4541

(4) 事業の概要

建築工事、土木工事 (建設業許可番号：兵庫県知事 特-3 第350346号)
残土処分 (特定事業許可番号：第055003号)

(5) 事業規模

年間売上高 298百万円 (2023/9月～2024/8月)

	本社	資材倉庫	残土処分場	合計
総従業員 2023.9.30現在	10人	0人	0人	10人
延べ床面積	267.3㎡	337.02㎡	0㎡	604.32㎡
敷地面積	500㎡	2,500㎡	1,144㎡	4,144㎡

(6) 建設現場等の概要 (2023/9～2024/8)

元請工事 49件
下請工事 6件

(7) 会計年度 9月～翌年8月

(8) 残土処分場概要

面積：1,144㎡ 土砂搬入予定量：2,414㎡(最大高さ4.0m)
特定事業の許可期間：令和5年7月1日から令和10年6月30日まで

2. 主な環境負荷の実績 (2023/9～2024/8)

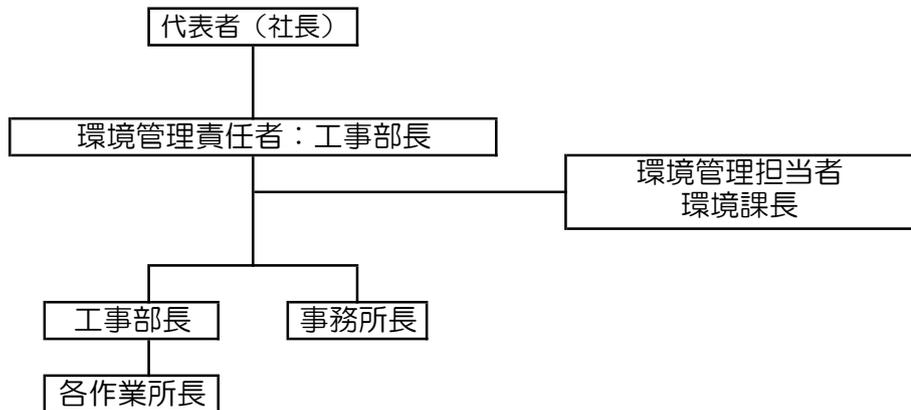
項目	単位	全社排出量				
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	146,655	84,209	76,669	133,188	
電力使用量(本社)	kg-CO ₃	3,595	4,133	4,266	4,000	
	電力使用量(工事現場)	kg-CO ₄	473	808	889	2
	ガソリン	kg-CO ₅	16,440	15,658	16,105	13,526
	軽油	kg-CO ₆	126,147	63,610	54,509	115,660
廃棄物排出量	トン	940	6,787	258	773	
一般廃棄物	kg	184	176	150	152	
	産業廃棄物	トン	940	6,777	257	773
	産業廃棄物(特別管理)	トン	0	9.61	0.6	0
水使用量	m ³	68	69	61	62	

使用した電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh (関西電力、2018年度の調整後排出係数)

3. 対象範囲（認証・登録範囲）
 事業活動：建築工事、土木工事
 対象事業所：本社、資材倉庫、残土処分場

4. 推進組織図及び役割・責任・権限

【推進組織図】



【役割・責任・権限】

	役割・責任・権限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③環境経営目標、環境経営レポートを承認する ④資源（人・もの・金）の用意をする ⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④EMS全般の舵取りを行い、実行を推進する ⑤環境経営レポートの作成
環境管理担当者	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
全従業員	①自部門の環境目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境経営目標、環境経営計画の達成と実績の把握を行う

5. 環境経営方針

内藤建設株式会社 環境経営方針

地球環境の保全が重要課題であることを認識し、社会的責任を果たすために環境に配慮した事業活動に取り組みます。

1. 当社は下記のとおり、事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに工事施工時における環境配慮に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
 - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等並びに地元との約束等を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知し、社外へも公開します。

制定日：2024年 5月 1日
内藤建設建設株式会社
代表取締役 内藤 英樹

6. 環境経営目標

No.	環境経営目標	基準年度		2024年度目標		2025年度目標		2026年度目標	
		2021年度実績							
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.334	10,764	kWh		10,441		10,333		10,226
		3,595	kg-CO ₂	-3%	3,487	-4%	3,451	-5%	3,415
2	電力使用量の削減 (工事現場) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.334	1,415	kWh		1,373		1,358		1,344
		473	kg-CO ₂	-3%	458	-4%	454	-5%	449
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.32	7,086	ℓ		6,873		6,803		6,732
		16,440	kg-CO ₂	-3%	15,946	-4%	15,782	-5%	15,618
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.58	48,894	ℓ		47,427		46,938		46,449
		126,147	kg-CO ₂	-3%	122,362	-4%	121,101	-5%	119,840
5	二酸化炭素排出量 の削減 ※2	146,655	kg-CO ₂	-3%	142,254	-4%	140,789	-5%	139,322
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上) ※3	97.7	%	+0.3 (%)	98.0	+0.4 (%)	98.1	+0.5 (%)	98.2
7	一般廃棄物排出量 の削減(可燃ごみ)	184	kg	-3%	178	-4%	177	-5%	175
8	水使用量の削減	68	m ³	-3%	66	-4%	65	-5%	65
9	問題発生を未然に抑える 取組の推進 ※4	68 (2024年)	点	±0点	68	+1点	69	+2点	70

(注) ・化学物質は使用していないため、目標に設定していません。。

※1 電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh（関西電力、2018年度の調整後排出係数）

※2 都市ガス、灯油の値は含まれていない。（使用量が少ないため、目標に設定していない）

※3 産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(918.21t)÷発生量(940.05t)=97.7%

※4 請け負った工事ごとに、現場代理人が「特性把握と調査」、「地域環境」、「景観」、「動物・植物・生態系」、「大気・騒音・振動」、「水質・土壌汚染等」、「建設廃棄物・副産物」、「温暖化対策」に関する取組を項目ごとに点数評価し、点数を算出する。

（工程が1週間以内の工事は評価できないため除外する。）

7. 環境経営計画

No.	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制 (責任者)
			全期	春期	夏期	秋期	冬期	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28℃、冬期:20℃)			○		○	事務所 担当者
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
		4.離席時のパソコン電源OFF	○					
2	電力使用量の削減 (工事現場) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28℃、冬期:20℃)			○		○	工事部 部長
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					事務所 担当者
		3.法定速度の順守 4.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					工事部 部長
		3.法定速度の順守(ダンプ、トラック)	○					
		4.相乗りの励行(ダンプ、トラック)	○					
		5.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
		6.過度な負荷をかけないアクセルワーク(重機)	○					
5	二酸化炭素排出量 の削減	・NO.1~4 に従う						
6	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	1.建設廃棄物の分別徹底	○					工事部 部長
		2.不法投棄、不法処分リスクの無い処理業者への委託	○					
		3.保管基準の順守	○					
7	一般廃棄物排出量 の削減(可燃ごみ)	1.リサイクルを意識した一般ごみの分別	○					事務所 担当者
		2.コピー紙の裏紙使用	○					
		3.詰め替え容器のある商品の選択	○					
8	水使用量の削減	1.水の流しっぱなしの防止	○					事務所 担当者
		2.節水ステッカー貼付による節水意識の向上	○					
9	問題発生を未然に抑える 取組の推進	・請け負った工事ごとに、「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、「建設廃棄物」について、適切な取組を実施(低騒音型重機使用、沈砂池の設置、排ガス第3次規制対応車使用、特定建設資材の100%リサイクルなど)	○					工事部 部長

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※4	環境経営計画の実績 (2023年9月～2024年8月)			次年度の 環境経営計画
				実績	目標	達成率	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みの消灯 空調設定温度の励行 部分消灯及びこまめな消灯 離席時のパソコンOFF 	◎	実績	11,975KWh	<ul style="list-style-type: none"> 空調機の使用頻度が増えエネルギー削減できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 空調機の更新を行い目標を達成する。
			◎	単位	kg-CO ₂		
			◎	目標	3,487		
			△	実績	4,000		
				達成率	87 %		
	達成状況	×					
					※5		
2	電力使用量の削減 (工事現場) (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> 空調設定温度の励行 部分消灯及びこまめな消灯 離席時のパソコンOFF 	○	実績	7KWh	<ul style="list-style-type: none"> 基準年度に比べ使用期間が短かったため。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の取組を継続する。
			○	単位	kg-CO ₂		
			△	目標	458		
				実績	2		
				達成率	22,900 %		
	達成状況	○					
3	自動車燃料使用量の削減 (ガソリン) (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> 急発進の防止 アイドリングストップ 相乗りの徹底 適正空気圧の確保 	○	実績	5830ℓ	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの意識が浸透した。 	<ul style="list-style-type: none"> 自覚教育などを通じて、更に意識を徹底させる。
			○	単位	kg-CO ₂		
			△	目標	15,946		
			△	実績	13,526		
				達成率	118 %		
	達成状況	○					
4	重機燃料使用量の削減 (軽油) (CO ₂ 排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップ 作業内容に応じたアクセルワークの実施 	◎	実績	44,829ℓ	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップは定着した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、作業内容に応じたアクセルワークの習得に努める。
			○	単位	kg-CO ₂		
				目標	122,362		
				実績	115,660		
				達成率	106 %		
	達成状況	○					
5	二酸化炭素排出量の削減 ※1	No.1～No.4 に記載		単位	kg-CO ₂	No.1～No.4 に記載。	No.1～No.4 に記載。
				目標	142,254		
				実績	133,188		
				達成率	107 %		
				達成状況	○		
6	産業廃棄物排出量の削減 ※2	<ul style="list-style-type: none"> 建設現場での分別強化 金属くずの分別ボックス新設 	○	単位	%	<ul style="list-style-type: none"> 分別の意識が浸透した。 	<ul style="list-style-type: none"> 分別を更に徹底して種類ごとのストックヤードを設置する。
			○	目標	98.0		
				実績	99.6		
				達成率	102 %		
				達成状況	○		
7	一般廃棄物排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙の裏紙使用 一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進 	◎	単位	kg	<ul style="list-style-type: none"> コピー用紙の裏紙使用が徹底した。 	<ul style="list-style-type: none"> コピー機に裏紙専用トレイを設ける。
			○	目標	178		
				実績	104		
				達成率	171 %		
				達成状況	○		

8	水使用量の削減	•水の流しっぱなしの防止	◎	単位	m ³	•水の流しっぱなしはなくなったが手洗いの回数が増えた。	•漏水の点検を2ヶ月毎に実施する •散水は雨水貯留タンクを活用する
		•節水ステッカー貼付	○	目標	66		
		•節水意識の向上	○	実績	62		
				達成率	106 %		
				達成状況	○		
9	問題発生を未然に抑える取組の推進 ※3	•工事における下記の環境配慮活動の実施		単位	点	(実施した工事の環境配慮)低騒音型重機使用、沈砂池の設置、排ガス第3次規制対応車使用、特定建設資材の100%リサイクルなど	•工事における環境配慮活動を更に徹底する
		(1)騒音・振動の低減	○	目標	68		
		(2)水質汚濁の防止	◎	実績	68		
		(3)大気汚染の防止	○	達成率	100 %		
		(4)建設廃棄物のリサイクル	○	達成状況	○		
実施体制		•実施体制(環境管理責任者並びに各目標ごとに設定された実施責任者)は有効に機能しており、これを継続する。					

- ※1 灯油・都市ガスの値は含まれていない。(使用量が少ないため、目標に設定していない)
- ※2 産業廃棄物のリサイクル率の向上(実績);再生量(770.03t)÷発生量(773.19t)=99.6%
- ※3 問題発生を未然に抑える取組;点数=合計点数823点/12現場=68点
- ※4 評価:◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった
- ※5 達成状況:○目標達成 ×目標未達成

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

遵守評価日：2024年 9月 30日

適用される法令等		主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1	廃棄物処理法	処理業者との適正な契約書の締結並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
		マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存）	遵守
		廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
		マニフェスト交付状況の知事への報告（毎年6月30日までに）	遵守
2	建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化（コンクリート、廃木材、アスファルト等）	遵守
		元請業者の発注者への再資源化に関する書面報告、並びに再資源化実施状況の記録作成と保存 都道府県知事への事前届出の提出（工事着手の7日前まで）	遵守
3	騒音規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前 特定建設作業は敷地境界線において、85dB(A)を超えないこと	遵守 遵守
4	振動規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前 特定建設作業は敷地境界線において、75dB(A)を超えないこと	遵守 遵守
6	労働安全衛生法 （石綿障害 予防規則）	作業場には、石綿等の使用の有無に関する調査終了日、調査方法、結果の概要を掲示	該当なし
		石綿等の除去作業、封じ込め・囲い込みの作業等は事前に所轄労働基準監督署長に提出	該当なし
		作業場所の隔離、ろ過集じん方式の集じん・排気装置の使用などの処置	該当なし
		作業場以外の立入禁止とその表示	該当なし
7	建築基準法	居室の種類及び換気回数に応じて、内装仕上げに使用するホルムアルデヒドを発生する建材の面積制限	該当なし
		居室を有する建築物へのしろあり駆除剤、クロルピリホスの使用禁止	該当なし
8	建築物省エネ法	特定建築物を新築、増築若しくは改築又は特定建築物以外（政令で定めるもの）の建築物を増築するときは建築物のエネルギー消費性能基準に適合させる	該当なし
		一定規模以上（300m ² ）の建築物の新築、増改築の工事着手日の21日前までに建築物のエネルギー消費性能の確保のための構造及び設備の計画を所管行政庁に届け出る	該当なし
9	消防法	防火管理者の専任（工場・倉庫・事務所は50人以上）及び所轄消防署長への届出	該当なし
		消火設備の定期点検、消火器の有効期限少量危険物の届出、点検	遵守
10	フロン排出 抑制法	空調機の簡易点検（3か月以内ごと）及び廃棄後3年間までの記録保存	遵守
		・廃棄時におけるフロン類の回収依頼書又は委託確認書の交付 ・回収依頼書又は委託確認書並びに充填回収業者が交付した引取証明書の3年間保存	該当なし
11	自治体との災害時 応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・ 体制確認

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等は過去5年間、1件も発生しておりません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2024年 9月 30日

代表者： 代表取締役 内藤 英樹

作成者： 大塩 裕和

見直しに必要な事項		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
環境経営目標及び環境経営計画	環境経営目標・計画の達成状況は妥当か ・課題とチャンス、 ・二酸化炭素排出量削減、 ・廃棄物排出量削減、 ・水使用量削減、 ・製品・サービスの環境性能の向上	おおむね目標達成状況	環境経営目標及び環境経営計画は変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
その他の環境経営システム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷の大きな変化 ・法規制等の遵守状況 ・教育・訓練の実施 ・外部からの苦情や要望 ・実施及び運用の適切性 ・緊急事態への準備状況 ・取組の確認並びに是正処置の状況 ・環境経営レポートの作成と公表、活用状況 	環境経営システムは適切である。	環境経営システムは変更しない	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
前回の代表者指示事項のフォローアップ	各手順書事項通り活動できていた。電力の削減意識の徹底が指示事項だったが、達成できなかった。こまめな消灯は徹底できていたように思うが空調の使用時間が昨年に比べ長く使用量が増加したと考えられる。			
代表者の指示事項	本社での削減達成率が低かった。 空調設定温度の管理等を考え、さらに電力の使用削減意識を高めよう。			
代表者の総合評価※	昨年に比べ、重機作業が増え二酸化炭素の排出量が増加したが、その他の項目は減少できており、削減率も上げられるよう意識されていた。 混合廃棄物の排出量は工事内容の関係で増加したが、リサイクル率は向上しているため各自の意識は徹底されていると考える。 環境経営方針・環境経営目標及び環境計画・実施体制については次回からも現状維持でいこう。			

※次年度以降への展開を重点に記載する

11. 環境活動の紹介

<建設協会 西脇市奉仕作業 作業員参加>



<従業員によるコミュニケーション>



<エコアクション掲示板>



<節電・節水>



<地域交流>



<環境配慮の施工>



<ごみの分別>



<井戸水の利用>

